

人口10万人地方自治体 における第一次産業の 多様な貢献

オンライン開催

令和8年 1 / 8 (木)

13:00～15:20

事前登録制 (先着100名)

大都市圏を国際競争力維持のために一層発展させると同時に、地方都市を「産業の場」「食料供給（農業）の場」「居住の場」として機能させ、国全体として分散型社会を構築することは、わが国の本質的な課題である。地方都市が有する機能には農業を中心とした一次産業が大きく貢献していることから、人口減少下においても効率的な食料生産を可能にする営農技術の確立、気象災害の激甚化に影響を受けにくい食料生産基盤の整備、地域資源を活用する自立分散型の農村の構築および土地利用の最適化などに向けた取り組みが今後益々重要になる。

本シンポジウムは、地域総合農学の視点から、人口10万人規模の地方自治体の第一次産業の多様な貢献について紹介するとともに現場での課題などを取り上げ、持続可能な国土の未来を考える機会として開催する。

次 第

司会進行：弓削 こずえ（日本学術会議連携会員、佐賀大学農学部 教授）

1 開会挨拶と趣旨説明 13:00～13:20

「人口10万人地方自治体における第一次産業の多様な貢献」とは

仁科 弘重（日本学術会議連携会員、愛媛大学学長）

2 講 演 13:20～14:35

地方都市周辺における農の保全に向けた土地利用制度・農地制度の課題

武山 絵美（日本学術会議連携会員、京都大学大学院地球環境学堂／農学研究科 教授）

弓削 こずえ（日本学術会議連携会員、佐賀大学農学部 教授）

農が都市にもたらす生態系サービス

大黒 俊哉（日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）

地方都市周辺での効率的な農業を目指す農環境センシング技術

本間 香貴（日本学術会議連携会員、東北大学大学院農学研究科 教授）

3 コメント／質疑応答 14:35～15:00

コメンテーター 荊木 康臣

（日本学術会議連携会員、山口大学農学部長、
山口大学大学院創成科学研究科 教授）

コメンテーター 小田切 徳美

（日本学術会議連携会員、明治大学農学部 教授）

4 閉会挨拶 15:10～

後藤 英司（日本学術会議第二部会員、

千葉大学大学院園芸学研究院 教授）

参加申込方法

参加を希望される方は、下記URLまたはQRコードより事前申し込みをお願いします。



申込締切 令和8年1月5日(月)

<https://forms.gle/SNfFqEKR2eeGjuuU7>
chiiki.sg.symposium2025@gmail.com

↑お問い合わせはこちらまで